

総会資料 1

**一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会
2021 年度（令和3年度）**

事業報告

一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会

令和3年度事業報告（年間）

【法人概要】

当法人は京都市在住の母子家庭の母を中心とした、当事者による福祉団体として、戦後間もない昭和25年、世帯主を戦争で失った母子家庭の母が集まり、戦後の混乱期における母子家庭の地位や権利の向上を目的として活動を開始した。昭和57年に社団法人、平成25年8月に一般社団法人へ移行。令和3年2月には、国や自治体がひとり親家庭福祉へとシフトする中、父子家庭を加えたひとり親家庭支援を明確に打ち出すこととし、「一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会」へ名称変更を行った。

母子寡婦福祉からひとり親家庭福祉へ移行した経緯として、平成22年(2010年)8月、児童扶養手当の支給対象に父子家庭が加えられ、平成26年(2014年)には、根拠法である「母子及び寡婦福祉法」が「母子及び父子並びに寡婦福祉法」へと名称変更が図られた。以来、国及び行政の施策においては、父子家庭を含めた「ひとり親家庭支援」として位置づけられることとなった。

連合会では、昭和59年2月「京都市母子福祉センター米岡荘」の運営管理を受託し、平成16年4月京都市母子家庭等就業・自立支援センター事業を開始。平成21年4月に北山ふれあいセンターに移転し、平成24年4月「京都市ひとり親家庭支援センター」に名称変更。京都市のひとり親家庭支援のための中核施設として管理・運営に携わっている。

当法人の児童館運営については、平成7年に、伏見住吉地域の住民によって運営されていた「京都市住吉児童館」の管理・運営事業を委譲されたのを皮切りに、平成21年4月、京都市左京区北山ふれあいセンター新築に伴い、「京都市母子福祉センター（現京都市ひとり親家庭支援センター）」に併設される形で「京都市葵児童館」が新設された。全国でもめずらしい母子福祉と児童福祉施設の合築施設として連合会が運営・管理を担うこととなる。また、平成22年には、伏見下鳥羽地区の民設民営児童館「下鳥羽児童館」が法人傘下に入り、続いて令和3年度より岩倉南児童館の指定管理事業者として選定され、全4児童館となった。また、平成22年より、旧京都市母子福祉センター米岡荘1階において、乳幼児親子の交流施設「京都市子育て支援活動いきいきセンターつどいの広場」を受託運営しており、ひとり親家庭福祉及び児童福祉分野において積極的な事業展開を行っている。

○法人基本理念

私たちは、ひとり親家庭をはじめとして、すべての子どもと親の幸せを願い、家族のかたちにとらわれることなく「その人らしく、豊かで充実した生き方」ができる社会の実現を目指します。一人ひとりの暮らしが安心と希望に支えられ、いきいきと充実した毎日が送れるよう全力で支援します。

○基本方針

1. ひとり親家庭福祉及び児童福祉の推進

ひとり親家庭等が安心して自立するための支援充実を図り、貧困の連鎖が解消され、児童の健やかな育成が実現できる社会づくりに参画し、熱意と英知を尽くし、ひとり親家庭福祉及び児童福祉の向上及び地域福祉の促進に取り組みます。

2. 人権と本人の意思の尊重

当事者の人権と個人の意思を尊重し、心身ともに健やかな生活を形成し、その有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう、常に当事者に寄り添い、誠実であたたかい支援を実践します。

3. 利用者本位の福祉サービスの提供

事業運営にあたっては、利用者やそのご家族との信頼を構築し、職員一人ひとりが利用者の希望や思いを真摯に受け止め、常に福祉サービスの質の向上に努め、自己研鑽と実践への向上心をもって事業に取り組みます。

4. 地域社会への貢献

ひとり親家庭福祉連合会会員活動及び施設事業において、地域住民や関係団体との連携・交流に努め、信頼される施設として、蓄積した経験知識や各種スキルを地域に還元し、地域社会の発展と福祉の向上に積極的に寄与・貢献します。

【2021 年度事業活動報告トピック】

○コロナ禍における新たな活動のあり方

2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症の世界規模での発生は、急激な経済的・社会的停滞を招き、発生から2年以上経過した現在も完全収束には向かっていない。むしろ各種変異株の出現により、新たな感染モードに入ったともいわれている。コロナ禍で傷ついた経済生活を元に戻すことは容易ではなく、収入の低下や失業、就職難という現象が長期化することで、従来から経済的困窮度の高かったひとり親家庭の生活を益々苦しめる要因となっている。

コロナ禍においては、当事者団体としての活動の原点に戻ることの必要性を考え、「孤立を防ぐ」「当事者同士が互いに励まし合う」「子どもの幸せを最優先に考え行動」「必要な情報を伝え、共有する」といった活動の優先事項をしっかりと確認し、行動へとつながるよう心がけた。コロナ禍の活動では、何よりも人と人とのつながりを絶やさないという思いで各会員が活動に取り組むことができた。活動には感染防止のため3密を避ける必要があったため、開催形態の工夫や人数制限の実施などで対応を工夫した。

○支援団体との連携・協力

このような現状の中で、各種支援団体様・企業様との連携を深め、支援いただくことができた。慈善団体キワニスクラブ様からは、ひとり親家庭への食事支援として、京都ホテル様のご協力を得て、市内各所において無料のお弁当配布（限定100食）を実施。また、株式会社パソナ様からは関連企業様に呼びかけていただき食料提供を受け、ゆめあすにて食料支援を実施した（連合会からはお米2kg20袋寄付）。また、京都南ライオンズクラブ様からは、小学校入学祝いとしてランドセルのご寄贈（京都市宛て10個）を受けるなど、各種団体・企業様からのご支援・ご協力により様々な支援活動を行うことができた。

※詳細は以下、活動報告に記載。

○ひとり親家庭福祉事業・児童福祉事業の展開

「ひとり親家庭福祉」及び「児童福祉」にかかる事業の指定管理・委託事業を事業運営の2本柱として、常に法人の運営透明性を高め、公的福祉事業を担う重責をよく認識し、事業の課題について検討・改善を推し進め、適正かつ効率的に運営を行うよう務めることを引き続き基本目標とした。京都市ひとり親家庭支援センター、住吉、葵、下鳥羽、岩倉南の児童館4館の運営、つどいの広場「ほっこりはあと出町」の運営を通して、地域に根ざしたきめ細やかな支援を行い、ひとり親家庭への支援及び子どもの権利と安全を守り、その自立と成長を支援する活動に注力した。実施にあたり、京都市、関係各団体をはじめとする機関との連携を深め、地域の住民の皆様との相互理解に基づく良好な関係の構築を実現し、地域に貢献する事業運営を推進した。

【法人組織運営体制についての重点課題】

令和2年度に「2020組織改革(案)」をベースとして、法人名称の変更、内部ガバナンス体制の見直し等に着手した。定期的開催の委員会形式により改革議論を深め、法人の持つ課題を明確化し、PDCAサイクルによる改善策実行を推進した。

令和3年事業計画においては、今後の社会構造の変化を見据えて、団体の活力を地域社会において活かすためにこれから何が必要か、当事者団体として活動するためにどのような形がふさわしいのかを検討しつ実行した。高齢化による会員減少や新規会員獲得にかかる課題など、従来からの問題点を分析し、従来の会員組織構造に囚われない新しい構造改革が必要として、情報発信の仕組みを支えるホームページのリニューアル及びLINEなどSNS等の導入を図った。

また、各事業における職員育成を加速することを確認、人材育成のための職掌規程の整備や自己目標シートの導入、定期的な職員ヒアリングの実施、管理職のマネジメント力の強化、リスク管理体制の整備にかかるコンプライアンス規程作成などを実施した。

■事業部活動報告

1 法人定例総会の開催

日 時 令和3年5月31日(日) みなし決議成立。

会 場 みなし決議(議決権行使書)

出席者 正会員 36名

内 容 令和2年度事業報告並びに決算報告、法人名称変更他承認について

結 果 全会一致により承認

以下の法令を根拠として、みなし決議を実施した。

(社員総会の決議の省略) 法人法第58条1項「理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。」

2 母子寡婦福祉大会

【近畿地区母子寡婦福祉大会】*コロナ感染症予防対策により中止

目的 近畿ブロック会員の研修と相互交流を図り母子寡婦福祉の一層の向上をめざす。
日時 令和3年7月4日(日)
会場 ダイワロネットホテル和歌山
主催 全国母子寡婦福祉団体協議会、近畿地区ブロック、和歌山県母子寡婦福祉連合会
後援 厚生労働省、近畿各県・指定都市及び同社会福祉協議会ほか

【京都市ひとり親家庭母子寡婦福祉大会】*コロナ感染症予防対策により中止

目的 京都市内会員の研修と相互交流を図りひとり親家庭福祉の一層の向上をめざす。
日時 令和3年11月28日(日)
会場 ハートピア京都大会議室
主催 一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会
後援 京都市、京都市社会福祉協議会、京都新聞社会福祉事業団

3 各部会活動

(1) 法人事業

①お手玉販売

会の事業費に資するとともに、会員がお手玉を手作りして交流を深めることを目的とする。児童館夏まつり、北山ふれあいセンターまつりなどで販売。定価5個500円。

②ウイングス京都におけるイベントに参加

●日時 3月13日 14:00~15:30

●場所 ウイングス京都2階 セミナー室A・B

●テーマ 女性のための居場所／つながるスペース

●目的 “ひとり親. という同じ立場、同じ目線で、困っていることや聞きたいことについておしゃべりしてみませんか。※会場では食品の無料提供あり。

●主催 京都市／企画・運営 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

参加無料 定員20名

●内容

1 団体紹介「こんな事やっています」各団体から日々の生活に役立つ情報提供。(学習支援、就業の相談、一時預かり、食品提供など)

2 情報収集&交流会

3 フードバンクより食品提供／認定NPO 法人セカンドハーベスト京都より

③出張 mamacafe つながるスペース特別版『親子リトミック教室』

●日時 3月20日(日) 14:00-15:30

(うち15:00-15:30ほっこりタイムの座談会を設ける)

●場所 ウイングス京都 地下音楽室

- 講師 特定非営利活動法人リトミック研究認定講師 吉田 桐子氏
- 主催 京都市／企画・運営 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会
- 参加者 母4名子4名 ※ゆめあす自立支援事業報告「mamacafe」にて詳細報告

(2) 母子部事業

① 定例会会の開催

母子部長・副部長を中心に有志が参加する会議を、毎月第2日曜日(変更あり)に開催。
5.8.9.1.2月は新型コロナ感染症防止対策のため中止。

② 母子部交流事業「お茶ママ」

生計維持と仕事の両立のため、自由になる時間が少なく、孤立しがちな京都市在住の母子家庭の親子を対象に、子育てや仕事などの情報交換や交流を図ることを目的に開催している。令和3年度はコロナ禍ではあったが、人数制限をしつつ2回の開催が実現した。

(一回は、コロナの影響で中止となる)

【母子部事業内容】

○ お茶ママスペシャル～奨学金について話そうよ！～

- 日時 6月13日(日) 13:30～15:00
- 会場 京都市ひとり親家庭支援センター内 児童館遊戯室
- ねらい 受験経験のある先輩との座談会形式で体験談を交えながら、学ぶ。
- 内容 奨学金・学校説明会・オープンキャンパスについて調べ方や選ぶコツ専門家を招く形ではなかったが、先輩経験者の親との交わりで少人数で密度の濃い時間となった。
- 参加者 5名(経験者2名対象参加者3名)

○お茶まま

9月の予定を10月に延期するもコロナの影響で11月に再延期

- 日時 令和3年11月28日(日)
- 会場 京都市ひとり親家庭支援センター内 児童館遊戯室
- ねらい コロナ禍でおうち時間が増えている中、整理整頓や断捨離を意識されている方も多いうことを踏まえて整理収納アドバイザー2級の職員とともに座談会方式で交流しながら、楽しく学ぶ。
- 内容 収納の基本やリラックスの一助になる手作りアロマの方法など、参考資料を見ながら、アドバイザー資格のある職員を中心に進行しながら、日ごろの忙しさを置き去り気味のことを振り返り気持ちの整理にもつながるような時間空間として開催した。
- 参加者 母子3組(母3子2) 父子1組(父1子1)

○情報モラル講座(お茶まま)

- 日時 令和4年2月20日(日) 13:30～
- ✓上記日程に延期で再開試みるも、コロナの影響で中止

○親子でクリスマス会

昨年度に続きコロナ禍ではあったが、感染症対策をしっかりと行った上で、孤立を防止する意味を込めて定員制限の上、「親子でクリスマス」を開催した。

- 日時 令和3年12月12日（日）午後13時～、14時～、15時～ 各回入替制
- 場所 京都市ひとり親家庭支援センター 児童館遊戯室 図書コーナー 学童室
- 内容 新型コロナ感染症対策のため、入場時間を3回に分け、入替制で行った。常時換気を行い、入替時には消毒を徹底。クリスマスリース作り、牛乳パック積みゲーム、コマづくりコーナー、親子で記念撮影。お菓子のプレゼント。参加者17家族42人

○山科区主催「おも掘り体験会」（共同募金助成事業）

- 日時 令和3年10月31日（日）
- 場所 山科区篤志家敷地
- 参加者 23名（親子8組17名 寡婦6名）

○中京区主催「柿狩り」

- 日時 令和3年11月17日（日）
- 場所 千弥農園
- 参加者 24名（親子6組12名 寡婦12名）

○学習支援会&体験学習

夏・冬・春の長期休暇中に体験型の学習会を開催。ひとり親家庭の子どもたちの「居場所づくり」と共に、親子の交流を深める楽しい経験と学びの場とした。また西京区では、引き続き通年の学習支援会を行なったほか、山科区・中京区の企画による事業も開催した。

○夏休み学習会

◆中京区◆ 木工教室

- 日時 7月25日（日）10:30～12:00
- 会場 中京いきいき市民活動センター4階
- 内容 材料費500円で、ペンケース・フィルムケース・太鼓・本立ての4種の中から希望のものを一つ選んでつくる。
- 参加者14人

◆山科区◆ 歴史探検（お土居）

- 日時 8月8日（日）10:00～12:00
- 場所 山科青少年センター集合 やましの歴史探検と題してお寺巡りお土居散策
- 内容 山科本願寺の説明を聞きながら、土塁に登ったりお土居に関する資料や非売品のやましの歴史地図もお土産にもらって大変貴重な勉強会になった。参加者からは『第2弾』の要望が出るほど好評だった。
- 参加者 浅井講師 スタッフ2名 参加者6名

○冬休み学習会

◆西京区◆

●日時 12月19日(日) 10:00 - 15:00

●場所 京都市交流促進まちづくりプラザ多目的室

●内容 「西京区 クリスマス会」/主催 京都市ひとり親家庭福祉連合会 西京支部
コロナ禍で閉塞しがちな地域の人々との交流を通じて、人と人の絆の大切さを再認識する機会とする。

●参加者 ひとり親家庭の方々や主宰する学習会「ゆう」の参加者、ボランティア、保護者、地域の方々など。当日の参加者数/計23名/大人7名・子ども16名

●目的 クリスマス・ケーキ作りとヤミカレーを作って交流を図る。参加者はカレーの材料を一つ持ち寄り(ジャガイモ、にんじん、など)。みんなで一緒にカレー作りとケーキのデコレーションを行う。カレーやケーキを食べながらほのぼのとした交流を実現する。午後は地域の子どもたちを中心に、遊び隊(ボランティア団体)による遊びで楽しんだ。

●協賛ご寄付

「コープ自然派」寄付品(ロースト・チキン、ピッツア)

○ 広報誌『POSITIVE』の発行

母子部会員相互の交流、情報の提供などを目的にニュースレター『POSITIVE』を4月・7月・10月/1月に発行(各1500部)。郵送で母子部会員に配布するとともに、関係者・機関に配布、配架の依頼を行なった。

✓中止 ⑥「葵児童館 夏まつり」への協力

(3) 学習会・居場所作り事業

○西京区学習支援会「ゆう」※コロナ自粛により19回の開催となった。

日時 毎週水曜日午後6時半～8時半

会場 京都市交流会館 ガタゴト

・ボランティアの指導者と共に学習、交流

✓コロナ中止 ○春休み学習会

(4) 法人広報

○会報「花ごよみ」の発行

連合会会員全体に向けての広報機関誌として、「花ごよみ」を寡婦部が主体になって編集発行し、会員及び関係機関等に配布した。(令和2年5月、2000部発行)

4 各種研修会活動への参加

(1) 全国母子寡婦福祉研修大会

全国の母子寡婦福祉団体が一同に会し、我が国の母子寡婦福祉の現状と今後の課題等について研修することを目的に開催。

日時 令和3年11月6日(土)～7日(日)

*コロナ感染症予防対策により中止。

(2) 近畿ブロック母子部長会議

近畿地区の母子寡婦福祉団体の母子部の役員が一同に会し、現在の母子福祉の抱える課題、今後の展望などを話し合い、幅広い母子福祉活動について検討、活動することを目的に開催している。

日時 令和3年6月・1月16日 各日曜日午後1時～4時

***コロナ感染症予防対策により中止**

(3) 全国母子寡婦指導者研修会及び母子部長研修会 ***コロナ感染症予防対策により中止** →リモートを含めて検討も中止となった。

全国の母子寡婦福祉団体の指導者が、一同に会し、母子寡婦福祉団体のあり方や、会の運営、母子寡婦福祉について研鑽を深めることを目的に開催。

日時 令和3年3月13日(土)～14日(日) 13時半～

会場 品川区立総合区民会館、アワーズイン阪急(東京都品川区東)

参加者 会長・母子部長

5 他団体・行政からの支援事業や他団体事業への参加

(1) 医療法人創健会西村診療所社会奉仕活動事業(寄附行為)

平成17年度より毎年、「母子家庭及び寡婦の健康支援のための無料人間ドッグ」を実施していただき、今年も25名の母子と寡婦が受診した。

日時 令和3年4月10日(日) 8時00分～12時頃

会場 医療法人創健会西村診療所(ホテルグランヴィア京都3階)

内容 「カスタムF女性用」コース

受信者 定員25名 当日2名キャンセル 23名受診

(3) やんちゃフェスタ2021(第2部)への参加 ***コロナ感染症予防対策により中止**

京都市及び京都市児童館学童連盟主催の「やんちゃフェスタ」第2部に出展協力し、母子部会員、理事がスタッフとして参加した。事業協力とともに、連合会の認知度アップを図り、母子福祉活動に対する一層の理解の促進を図る。

○第2部(乳幼児親子を対象とする屋内型イベント)

日時 令和3年11月

(4) 北山ふれあいセンターまつり ***コロナ感染症予防対策により中止**

京都総合福祉協会との共同企画により、北山ふれあいセンター全域で開催。地域住民、地域各種団体との交流及び事業理解を深める目的で実施。参加者約500名

日時 令和3年11月 午前10時～午後3時

後援 京都市社会福祉協議会・後援会、京都市母子寡婦福祉連合会

内容 ゆめあすのおにぎりやさん、ゲーム、理事の手づくり小物などを出展

(5) 協カイベント

○京都キワニスクラブ「第5回子ども料理教室」

今年度もコロナ禍の対策を配慮して下さりながら、大阪ガス「D I L I P A 京都」で子ども料理教室開催となった。小中高の学生（小学生は保護者が引率）をご招待いただいた。連合会事務局は募集事務を担当した。

●日時

令和3年9月11日（土）午前10時30分～午後12時30分

●後援

京都市教育委員会、産経新聞社京都総局、京都市母子寡婦福祉連合会

●内容

お花のデコいなり寿司・オクラと昆布の味噌汁・鶏ささみとカラフル野菜の焼き浸し（作ることを通して栄養バランスのとれた食事の大切さを知ってもらう）

●参加者

定員16人（引率の保護者を含む）*新型コロナ感染拡大防止のため定員半数

7 京都市から指定を受けて運営する施設（京都市指定管理者指定事業）

- (1) 京都市ひとり親家庭支援センターの管理・運営（別紙 事業報告・会計決算報告）
- (2) 京都市住吉児童館、葵児童館、岩倉南児童館の管理・運営（別紙 事業報告・会計決算報告）

8 京都市からの受託事業

- (1) 京都市ひとり親家庭支援センターにおける各種事業（別紙・センター事業報告）
- (2) 着物・スーツ貸出事業

昭和63年以来、株式会社千總様より京都市へ晴れ着の寄付があり、当連合会が事業委託を受け、母子及び寡婦家庭を対象に冠婚葬祭、成人式、七五三等に貸出事業を展開している。原則福祉事務所経由で利用者が来所。貸出料金大人用5,000円、子ども用1,500円。スーツは、無料の貸出しで借りた方がクリーニングをして返却とする。

・貸出件数

年度／種類	振袖 (袴含む)	留袖	友禅等	七五三 7才用	七五三 3才用	七五三 5才用	十三詣	合計
29	14	2	5	7	4	4	3	39
30	23	1	8	10	6	4	1	53
31	26	3	5	2	6	12	14	68
2	15	3	10	9	5	6	2	50
3	23	2	8	6	3	9	0	51

・スーツ貸出し数

年度／種類	ブラック 7号	ブラック 9号	ブラック 13号	グレー 9号	グレー 11号	服 合計	靴 24cm	靴 24.5cm	靴 合計
2	1	3	1	3	2	10	1	1	0
3	0	1	0	3	0	3	1	0	1

(3) つどいの広場（京都市子育て支援活動いきいきセンター）「ほっこりはあと出町」

当施設は平成22年1月18日開設。乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、交流を図ると共に、育児相談などを行う場を提供し、地域の子育て支援活動を支援することにより、親の負担感の緩和を図り、安心して子育てができる環境の整備と充実を図ることを目的としている。

令和3年度の来所数については、前年度に引き続きコロナ感染防止対策として、人数制限及び予約制とした影響から、前年比の89%程度の規模となった。今年度も感染予防対策を第一に、安全かつ親しみやすい空間であることに配慮し、町屋の建物のくつろぎ感を活かして、コロナ禍でも親子ともにリラックスできるよう取り組んだ。感染防止対策として、来場予約制により定員制限を設ける中で、同じ年代の親子さんが過ごせるよう年齢帯別の利用も実施。成長に合わせたあそびや絵本を提供し、規制のある中で充実した取組みができた。

枳形商店街協力による「ハロウィンパレード」など、地域の認知度も毎年拡大しており、コロナ前までは毎年着実に利用者の増加がみられた。

・令和2年度 来所者総数 2,594（のべ人数）

保護者	計(人)	母親		父親		その他	
	1,238	1,127		77		34	
子ども	計(人)	0歳	1歳	2歳	3歳～ 就学前	小学生	その他
	1,356	421	578	276	79	2	0

・令和3年度 来所者総数 2,332（のべ人数）

保護者	計(人)	母親		父親		その他	
	1,038	989		38		11	
子ども	計(人)	0歳	1歳	2歳	3歳～ 就学前	小学生	その他
	1,294	313	467	333	181	0	0

(4) 下鳥羽児童館の管理・運営

民設・民営の児童館として、22年度よりひとり親家庭福祉連合会傘下に入る。（詳細は事業報告、会計決算報告にて報告）

9 会員状況

会員の高齢化および新規会員入会が伸びない問題については、全国の母子寡婦福祉団体共通の課題として、全母子協を中心に全国規模で有効な対策に向けての検討が続けられている。当団体においても令和3年度は寡婦会員の減少がみられた。会員獲得のための改善策として、次項の取り組みの推進を図る。※次表

・ 現在会員数

年度	寡婦	母子		学区数
2020 (令和2年度末現在)	351	237		36
	588			
年度	寡婦	母子	父子	学区数
2021 (令和3年度末現在)	292	264	7	34
	563			

10 新規会員獲得に向けた取り組み重点課題

1. 入会申込み時の年会費処理の簡略化

クレジットカードやPayPayに対応させる。現在、会費はゆうちょ振込に限定しているため、ネット時代にふさわしく利便性を上げる。※検討中

2. 連合会ホームページの全面リニューアル

ホームページのシステム設計が古く、サーバーのバージョンアップに対応できていない。入会につなげるためのページ構成とし、連合会活動内容（コンテンツの質が問われる）・ひとり親家庭の課題を中心に構成する。また、対外的にもメインの広報素材として重要。コンテンツの質を上げつづける。※業者発注済み 令和4年7月頃完成予定

3. WEBの活用／講座・セミナー・動画発信（YouTube等）／連合会として情報発信力を高める。例・ひとり親に役立つ動画系コンテンツを増やす。※検討中

4. 連合会パンフの徹底リニューアル ※令和4年7月頃完成

5. 学習会・居場所作りに積極的に関わる。

ひとり親家庭対策としてもっとも実利のかつ有効な取組み。現在、西京区や山科区で学習会を開催（一部コロナ自粛中）しているが、地域活動の一環として、連合会各事業所での展開を検討する。

6. 親子交流レクリエーションの企画強化

最も敷居が低く、会員獲得につながりやすい。ただし、一過性になる傾向がある。事前・事後の入会働きかけを工夫する。

7. コンプライアンス強化を最優先課題として、「コンプライアンス規程」「コンプライアンス・マニュアル」の職員への周知と研修を通じて組織体制の強化を図る。

11 各種団体・企業との連携。寄附による行事・イベント

1. 京都キワニスクラブ様 寄付金額 100,000円

●目的 コロナ禍による収入減などで経済的困窮に直面しているひとり親家庭の親子へのお弁当の配付。家族へのメッセージ発信カードを用意したことで、コロナ禍の家族関係を見つめる機会となった。

●概要 京都市内在住のひとり親家庭にお弁当の無料配布（100食限定）

お弁当は基本を和食+洋食のセットとし、二人目からは子の分は希望をうかがう。

併せてメッセージカードを当選者に親から子へと子から親へと双方手渡すよう当

選者に当選案内に同封郵送（例：子がふたりの場合4枚必要となる）

●日時 令和3年11月19日（金）16：00～19：00（20：00まで延長あり）

●配布場所

①京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす②ラクト山科ショッピングセンター
③京都市呉竹文化センター ④京都市交流推進まちづくりプラザ「ガタゴト」

●応募人数 345名（親：136名 子：209名）

当選者数 100名（親：43名 子：57名）当日1組仕事の都合で来れず。

落選者数 242名（親：93名 子：149名）

※落選者には、食べ物アレルギーなども考慮し、動物の型抜き小型カレンダーを親子でいつも見て楽しんでもらえるよう落選案内に同封して送った。

●振り返り

申し込みの際にメッセージも送ってもらうことにより、家庭ごとの状況や子どもの様子が垣間見えた。配布当日、キワニスの方が配布場所に届けてくださる等、寄付だけにとどまらずご協力をいただいたことで運営全体が滞りなく行えた。また、産経新聞の取材も入り、活動と連合会周知の機会となった。更に、新規入会問い合わせ5件、実入会4件（令和3年11月26日現在）

2. 株式会社パソナ様

●日時 令和4年1月5日（水）～6日（木）

●食糧支援 株式会社パソナさまをはじめ10社のご厚意により、パソナ様がゆめあすまで物品

運搬を直接してくださり、ゆめあす保育室に並べラインで呼びかける。

●結果 反響は大きくて、二日かからずにすべて持ち替えられた。持ち替えられたご家庭は、25家庭だった。

※連合会からも、お米を準備し一緒に並べました。

3. 京都南ロータリークラブ様（京都市へ寄贈。ゆめあす・連合会で運営）

●日時 令和4年3月13日（日）

●ランドセル贈呈（ファミリーネットワーク事業報告で詳細）

●対象 京都市内在住のひとり親家庭の親子10組

4. クリスマスケーキ・プレゼント（ファミリーネットワーク事業で詳細報告）

●寄付者 オオツカ薬局様 滝和紙店様 大西染色様 【個人】S様 Y様 D様 M様 連合会児童館4館 京都市ひとり親家庭福祉連合会

5. コロナ対策寄付金

無記名（個人）10,000円

【女性の貧困対策／京都市事業】

生理用品の無料配布（京都市）

●日時 令和3年7月～年度末まで

●対象 京都市内在住・在勤の女性

●受取方法 受付で引き換えカードを提示・1人1パック（30枚入り）一回限り。